

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	0401	地域スポーツ推進事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-4	スポーツの振興		
	施策	1	生涯スポーツの推進		
目的	地域スポーツ（生涯スポーツ）の推進を図る。				
対象	スポーツ指導員、スポーツ推進委員、生涯スポーツ推進員、参加を希望する市民等				
意図	地域スポーツ（生涯スポーツ）の普及、健康増進、体力向上を図る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
	<input type="checkbox"/> スポーツ指導員の配置（スポーツ振興課） <input type="checkbox"/> スポーツ推進委員の配置（市内40名） <input type="checkbox"/> 地域スポーツ普及員の配置（市内346名：各行政区選出） <input type="checkbox"/> 早起きマラソンの開催 <input type="checkbox"/> スポーツ教室、イベント等の開催 <input type="checkbox"/> ニュースポーツ等の普及 <input type="checkbox"/> スノースポーツフェスティバル等の開催 <input type="checkbox"/> スポーツ推進計画の策定				
市民参画の有無	[スポーツ推進計画策定にかかるパブリックコメント]				
市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催		<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会		<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛		<input type="checkbox"/> 補助・助成		<input type="checkbox"/> 委託
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 早起きマラソン延べ参加者数	人	計画	186,700	186,700	186,700
		実績	202,523	173,654	
② 市スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数。	人	計画	5,500	5,500	5,500
		実績	6,361	5,871	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数	人	目標	220,500	225,000	230,000
		実績	216,397	190,981	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="checkbox"/> 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
早起きマラソンの延べ参加者数は、昨年よりも減少したが、引き続き、石鳥谷、大迫、東和地域に新たな会場を設置するよう呼びかけ、参加者増につなげたい。 スポーツ教室については、スポーツ推進委員の積極的な活動により、地域での教室数が増えていることから、さらに地域での活動を積極的に行い、参加者の増加につなげたい。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市民が生涯にわたり積極的にスポーツに取り組むため、市民のスポーツ参加機会を増加させる必要がある。そのため、スポーツ団体と協働し、多様化する市民のスポーツニーズに対応したスポーツ教室などの開催を推進する。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	早起きマラソンの延べ参加者数は、少子化の影響が大きく前年を下回ったが、市内全域での取り組みを目指し、新規会場の設置により参加者数の増加が期待できる。また、スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ教室等を充実させることにより、参加者数の増加が期待できる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	市民の、将来にわたる健康増進、体力向上を図っていくため、より一層の充実を図る必要がある。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民が、誰でも、いつでも、いつまでも、気軽にスポーツに取り組むために、市民のスポーツ参加の機会を増加させる必要がある。そのため、早起きマラソンを推進するほか、多様なスポーツ教室の開催を推進する必要がある。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
スポーツ基本法が制定（平成23年8月23日施行）されたことに伴い、平成24年3月30日付で、スポーツ基本計画が策定された。		
地域スポーツの推進のために、早起きマラソンをはじめとする各種事業を行い、一定の成果があった。 早起きマラソンについては、40周年を迎え、内閣府「子どもと家族・若者応援団表彰」内閣府特命担当大臣表彰を受賞した。今後も石鳥谷、大迫、東和地区に参加を促し、参加者の増加を見込んでいきたい。 スポーツ教室等は、市体育協会との事業のすり合わせを行い連携を深めているため、魅力ある教室や講習会等の回数を増やしていつている最中で、さらなる推進が見込まれる。		
国がスポーツ基本計画を策定し、①子どものスポーツの機会の充実、②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備等が政策目標として掲げた。このことにより、より一層、スポーツ環境の整備を図り、市民の多様化するニーズに対応したスポーツ教室等の開催につとめながら、スポーツの機会の充実とスポーツ活動の推進を図っていかねばならない。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	0401	地域スポーツ推進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		16,942	16,609		△ 333
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	16,942	16,609		△ 333

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
スポーツの振興に努めます。

事業開始の背景・経緯

旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で、生涯スポーツ（現、地域スポーツ）社会の実現のため、子どもの体力の向上方策や総合型地域スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。その後、平成23年8月、スポーツ基本法を制定し、平成24年3月に、スポーツ基本計画を新たに策定。

事業概要

- スポーツ指導員の配置（スポーツ振興課）
- スポーツ推進委員の配置（市内40名）
- 地域スポーツ普及員の配置（市内346名：各行政区選出）
- 早起きマラソンの開催
- スポーツ教室、イベント等の開催
- ニュースポーツ等の普及
- スノースポーツフェスティバル等の開催
- スポーツ推進計画の策定

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

新たな課題として、子供の体力が昭和60年頃の水準を上回ることができるような取り組みと、2極化傾向に対応したスポーツの機会の提供等の取り組みが必要である。（注：2極化とは、スポーツをすることしない子の差が激しくなっていることを指す。）
早起きマラソンは、子供の体力向上はもちろん、「早寝、早起き、朝ごはん」という規則正しい生活の習慣づけに非常に良い事業である。しかし、ほとんどの会場が旧花巻地域であり他地区への普及が課題である。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○早起きマラソン

- 主な支出 【謝礼】1,440,000円 【消耗品費】
- ・5月第1週から10月体育の日まで（156日間）、市内67会場にて開催
 - ・延べ総参加者173,654人（1日当たり、1,100人程）
 - ・普及月間（5月～6月）、強調月間（7月～10月）
 - ・年間三賞（皆勤、精勤、努力賞）の表彰

○スポーツ指導員

- 主な支出 【報酬】1,934,000円
- ・生涯スポーツの指導実践
 - ・市民スポーツ教室の企画、運営（10回実施、延べ321人参加）

○スポーツ推進委員

- 主な支出 【報酬】45,000円×40人=1,800,000円
- ・ニュースポーツ、生涯スポーツの普及、指導
 - ・各種スポーツ教室の企画、運営（ニュースポーツ講習会等）
 - ・岩手県、東北、全国の研修会への参加
 - ・各地区（振興センター単位）へのニュースポーツの普及

○地域スポーツ普及員（旧生涯スポーツ推進員）

- 主な支出 【謝礼】各地区協議会へ200千円+会員数割（1名分3千円） 計1,318,000円
- ・地域（生涯）スポーツの普及、指導・実践
 - ・各地域スポーツ教室の企画、運営

○スポーツ教室・イベント等の開催

- ・富士大学スポーツセンター無料開放事業（富士大学） 委託料 30,600円
- ・ニュースポーツ交流大会の開催（地域スポーツ普及員協議会） 委託料 200,000円
- ・子どもチャレンジランキング大会の開催（スポーツ推進委員協議会） 委託料 150,000円
- ・コーディネーションントレーニング指導者講習会の開催（Sumはなまき） 委託料 480,000円
- ・第97回全国高等学校野球選手権大会パブリックビューイングの開催 委託料 20,000円
- ・早起きマラソン40周年記念事業の開催 負担金 400,000円